

学習のきまり

■ 学校は、勉強をするところです。

■ 授業でこまらないように、学習用具をそろえましょう。

■ 学習に必要なものだけを持ってきます。(必要ないものは持ってきません。)

■ 持ち物には、必ず名前を書きましょう。

ふでばこの中



◆ けずったえんぴつ 5本

◆ けずった赤えんぴつ 1本～2本

◆ 白い消しゴム 1こ

◆ 透明なじょうぎ(10～15センチ ・ 二つ折りのものはやめましょう。)

◆ ネームペン 1本

★シャープペンシルは学校に持ってきません。小学校の学習にはふさわしくないからです。シャープペンシルはしんが折れやすいので、学習に集中できなくなります。

★持ち物は、シンプルでキャラクターなどが無いものにしましょう。

ノートに字を書くときは、下じきを使いましょう。

三つのやくそく

① ふでばこの中や学習用具の確認は、毎日しましょう。

② 次の授業の準備をしてから、休み時間にしましょう。

③ 授業の始まりの時こくを守りましょう。

学び方のポイント(5, 6年生)

話を聞くとき

- お話をしている人に体を向けます。
- うなずいたり,メモしたり,指をおったりと反応しながら聞きます。
- 自分の考えと「同じ」か,「ちがう」か,「にている」かを比べながら聞きます。

話をするとき

- 「賛成です。」「反対です。」というように,自分の立場をはっきりさせてから話します。
- 「なぜかというと,～だからです。」というように,自分の考えに理由をつけて話します
- 「例えば」や「もしも～なら」というように,具体的な例をあげたり,仮定したりして話します。

文を書くとき

- 行やマスからはみ出さないように,ていねいに書きます。
- 答えだけでなく,自分の考えや理由をノートに書きます。

～です。

なぜかというと,～だからです。

例えば～。

もしも～なら～となるはずです。

- 段落(改行)に気を付けて書きます。



学び方のポイント(3, 4年生)

話を聞くとき

- お話をしている人に体をむけます。
- うなずいたり、メモしたり、指をおったりと反のうしながら聞きます。
- 自分の考えと「同じ」か、「ちがう」か、「にている」かをくらべて聞きます。

話をするとき

- 「～に、さんせいです。」「～に、はんたいです。」「～とにているのですが」というように、自分の立場をはっきりさせてから話します。
- 「なぜかというと、～だからです。」というように、自分の考えに理由をつけて話します



文を書くとき

- 行やマスからはみ出さないように、ていねいに書きます。
- 答えだけでなく、自分の考えや理由をノートに書きます。

～です。

なぜかというと、～だからです。

- 「まず」「つぎに」「さいごに」を使って書くときは、だんらく（一マス下げ）に気をつけて書きます。

まな かた ねんせい 学び方のポイント(1, 2年生)

おはなしを きくとき

- おはなしを している人に、^{ひと} 体^{からだ}をおけます。
- おはなしの おわりまで ^{くち}口をとじて ききます。

おはなしを するとき

- おはなしを したいときは、^て手を ぴんと あげます。
- なまえを よばれたら「はい」と へんじをしてから はなします。
- 「～です。」「～ます。」をつけて はなします。
- 「まず」「つぎに」「さいごに」のように、じゅんばんが わかるように はなします。



ぶん 文を かくとき

- よいしせいで、^{ただ}正しいえんぴつの もちかたで かきます。
- ぎょうや マスにあわせて、ていねいに かきます。
- 「まず」「つぎに」「さいごに」のように
じゅんばんが わかるように ^{ぶん}文をかきます。